令和3年12月 社会福祉法人多々良福祉会 苦情状況報告

施設名	苦情有無	苦情受付日	申立人	苦情内容	対応状況	回答・改善内容
なごみの里	有・無					
つくしの里	有・無					
たいようの里	有・無	R3. 12. 22	本人	しい」「活動スペース内での 導線を確保してほしい」との 申し出がある。	制限を設けない旨申立人へ伝達、ご理解を得る。 ・マスクの着用に関しては身体状況や疾患等で着用出来ない方に外にはマスク差別を促	・苦情受付日の翌週より、マスク着用が可能な利用者11名に対して着用を依頼、着用して頂く事となった。 ・苦情受付日の翌週より活動スペースのレイアウトを変更、導線の確保を行った。
たいようの家①	有・無	R3. 12. 8	本人	利用者本人(以下、申立人という)より、個別外出対応を スタッフへ願い出たところ、 スタッフより「人員が不足し ていて対応が難しい」と言わ れたとの申し出がある。	ず、個別外出対応が出来てい ない状況について謝罪を行	・現状の人員で可能な限りの 支援を提案させて頂く事と なった。
たいようの家②	有・無	R3. 12. 17	本人	平日の夕方にイベントを開催する事に関して、利いう所にイベルの方にイベルの一下で、利用立人と皆通に関立ので、中日ののでは、一下ののでは、一下では、一下では、一下では、一下では、一下では、一下では、一下では、一下	・サービス管理責任者より事前にイベント日の告知が出来ていなかった事を謝罪。 ・イベント日の選定に関しては今後申立人も含めて入居者	・レクリエーションやイベントの日時選定や決定事項の伝達に係るマニュアルを作成する。
たいようの丘	有・無					